

矢部川橋梁

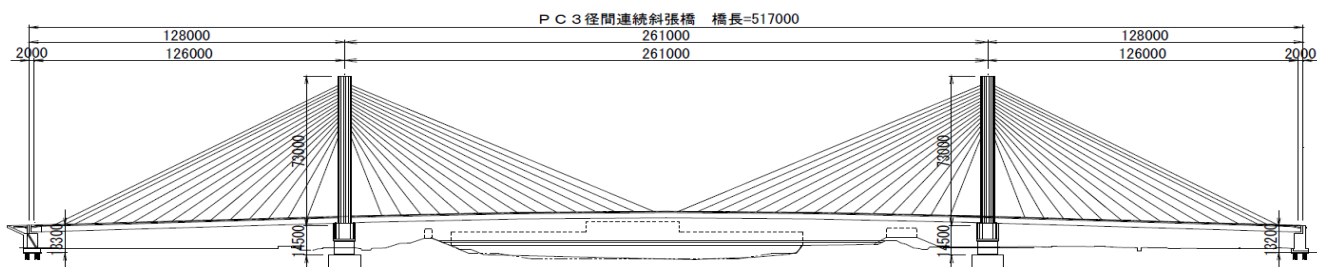
国内最大支間長を有するPC3径間連続斜張橋



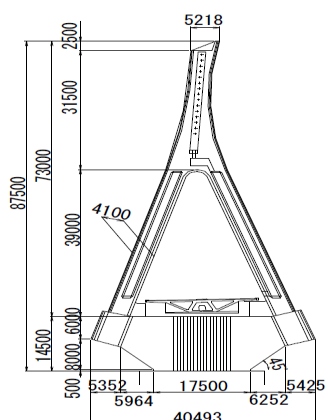
施主	国土交通省 九州地方整備局
施工場所	福岡県柳川市～みやま市
完成年	2009年
橋長	517.0m
形式	3径間連続PC斜張橋(1面吊り)
支間長	126.0m＋261.0m＋126.0m
有効幅員	19.0m
平面線形	R=1150m～A=500
縦断勾配	＋3.5%～－3.5%
横断勾配	3.0%～2.0%
主桁形式	逆台形3室箱桁
主塔形式	逆Y型主塔
受賞	土木学会 田中賞 2008年 PC技術協会 作品部門 2008年
参考文献	橋梁と基礎 2008年 3月 プレストレストコンクリート 2006年 No.3

本橋は、1級河川矢部川を渡河する橋長517mのPC3径間連続斜張橋である。国内最大の支間長を有するPC斜張橋であり、曲線斜張橋であること、大深度のニューマチックケーソン基礎を採用しており、主桁の施工に超大型移動作業車を用いたことなど、多くの技術的特徴を有する。また、主桁の施工中に、主塔基礎が沈下するという事象が顕在化した。

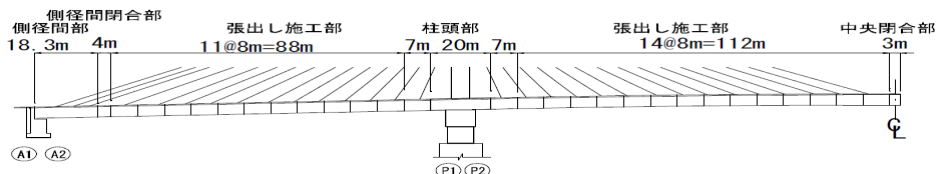
側面図



主塔正面図

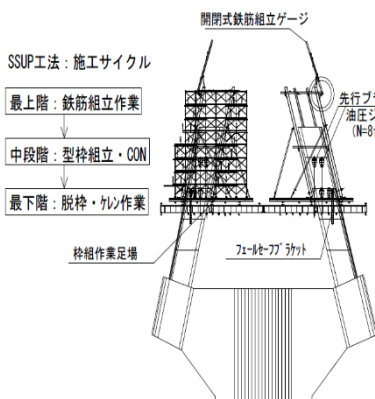
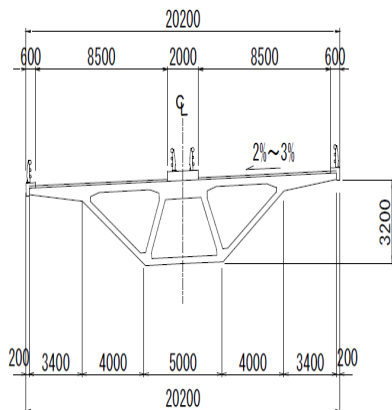


主桁ブロック割り



過沈下防止金物

主塔断面図



SSUP
(自己上昇式吊りステージ) 工法



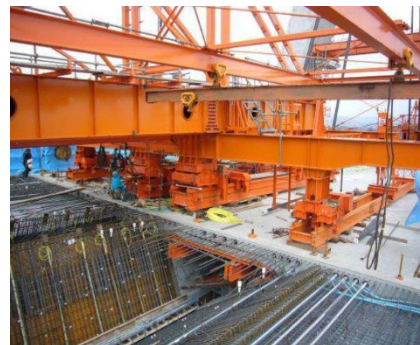
SSUP施工



鋼殻仮組立



超大型ワゴン施工



主桁内施工